

令和7年12月15日付【日本水道新聞】

関東支部<体験交え理解深める>

研修を遠山鉄工所で

水コン協関東

体験交え理解深める

研修を遠山鉄工所で

全国上下水道コンサルタント協会関東支部は11月25日、遠山鉄一郎本社にて
・久喜工場で第18回水道
関係者現場技術研修会を開催した。研修会は、水道コンサルタントの質養成向上を目指して同支部が
平成17年から実施しているもの。若手を中心に31人
が参加し、現場研修を通じて技術の習得・研鑽を
図った。

研修で参加者らは工場の説明を受けた後、実際に見学。ダクタイド、鉄鋼製形管の製造工程を見学した。また、同社のダクタイル鉄鋼製フランジ、アダプター（高性能アルミニウム合金）、「人間工学」の実験室、HAMA TIDEアンドブラーによるダクタイル鉄管の接合を体験。学による同商品の詳説を受け、理解を深めた。

回工場で実際の筆と同じ形に製造した模型の周辺に砂を固めて鋳型を作る「現型」と木枠や板を用いて「ひとつひとつ」つくる「錠型造形」法。「カギ型」でタクタイル錠型形を製造していく。カギ型を用いて製造できるのは向井のみ。羽生一郎と合わせて、全盛(75~2600°)の口徑の異形管をワンストップ

ブで製造でき、大口径の
ダクトタイル鍛鉄製形管の
分野では、国内で圧倒的な
シェアを誇る。規格化
の角度に対応した曲管等
も製造可能。
「TOHYAMA T
ECHI PLATE & PIPE
INDUSTRIES LTD.

で製造でき、大口径のダクトタイル鍛鉄異形管の分野では、国内で圧倒的なシェアを誇る。規格化の角度に対応した曲管等も製造可能。

「TODAYA T-PIPEアダプター」は、「ランジ維手を中フランジに組込みボルトで固定する」もの。ランジ維手が伸縮性を持つおり、調整範囲を有している。球形座金を使用することで、組めになつても固定可能。K型ゴム軸と同様、形状のT字ゴム軸と、高い水密構造を実現できる。

冒頭、同社の遠山義男代表取締役があいさつ、「異形管の工場を直接見



天野秀昌著



清山代表取締役

る機会は少ないのでほ
うか」と述べ、その上
「『ハーフタクル』の
何がどうか』と云ふ
流れをり笑ふたたか

なれば」と語りかけ、有意義な研修となりました。

は「ぜひ経験を持ち帰り、通常業務に生かしていくだけなら」と期待を込めた。



質問合に臨む参加者ら

球形座面を使用することで、斜めになつても回転可能。K型ドム輪と同様の形状のトヨタゴム輪など、高い水密性を実現できる。

兎一郎 現ま御足と